

『風と花と』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

富士・東部教育事務所地域教育支援スタッフでは、

- (1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。
- (2) 地域における体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

を目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

第15回 花の里 北都留 !!

一人一花運動 フォトライブラリー展

花を育て、子どもたちの

豊かな心を育ていきましょう !!



「家庭で、学校で、地域で花を育て、花いっぱいの北都留にしましょう。花を育て、子どもたちの豊かな心を育ていきましょう。そして次代を担う子どもたちが健やかに成長するように豊かな心を育みましょう。」

北都留地域教育推進連絡協議会（会長：江口英雄上野原市長）では、子どもたちが未来に向かって「夢」や「希望」を持ちながら生きていくことが出来るように、地域の教育力向上を意図する「地域教育明日の風」の活動の一環として「一人一花運動」を進めてきました。4月に北都留地区の全ての幼・保・小・中・高・支・

大および主な構成団体と、小学3年生、保育所(園)・幼稚園の年長児全員に花の種約2,000袋を配付して、花が咲き、潤いのある環境づくりに取り組んできました。

配付された花の種は、各地でこころを込めて育てられ、今年も多くのきれいな花を咲かせました。その様子を収めた写真展『フォトライブラリー展』が、平成28年11月8日(火)から12月18日(金)まで、北都留教育会館で開催されました。

今年も多くの保育所(園)・幼稚園・各学校から応募があり、教育会館はたくさんの花と子どもたちの笑顔に満ちあふれていました。



技を磨き、心を鍛える！！

伊藤知治教士八段剣道教室



北都留地域教育推進連絡協議会（会長：江口英雄上野原市長）、大月市剣道連盟（佐藤芳三会長）、上野原市剣道連盟（村上晃久会長）、富士・東部教育事務所（小坂健二所長）は、11月20日（日）に大月勤労青年センターにおいて、「平成28年度 第12回 伊藤知治教士八段剣道教室」を開催しました。

大月市出身の伊藤知治先生は剣道八段・居合道八段・逮捕術八段で警視庁名誉主席師範であります。また企業や大学の剣道部師範として後進の指導にあたられています。同教室は「子どもたちとの稽古・ふれあいをとおし、剣道に精進すること、技や生き方に目標をもつことができる機会とする。」ことを目的に、今年

で12回を数えます。当日は、大月市・上野原市などから豆剣士や中学校・高校の剣道部員、関係者を合わせて約140名が参加。伊藤教士はあいさつの中で、「剣道の精神を日常生活にも生かし、思いやりの心を忘れずに、夢の実現のために目標をもってがんばって欲しい。」と話されました。今回は、開会式後に指導者の居合演武が行われ、伊藤教士による解説がありました。その後、参加者は約2時間にわたり、剣道に臨む心構えや実技練習についてきめ細かい、熱心な指導を受けました。

全体指導のあとに行われた、指導者による立合、代表児童生徒との手合わせでは、伊藤教士の気迫と剣士達の気合いの入った姿勢に、会場全体は張り詰めた空気に包まれました。剣道教室に参加した剣士からは、「改めて基本が大切であることを学ぶ事ができました。」「剣道に対する心構えや日々の稽古の要点などを、子ども達にわかりやすく説明してもらい、さらに実技・指導も的確で親も子もとても勉強になりました。次回もぜひ親子で参加したいと思います。」等の感想が寄せられました。剣士達は、日々の自分自身の稽古を振り返りながら有意義な一日を過ごしていました。



Dream Come True 「夢の実現」

小林雅英コーチ野球教室



北都留地域教育推進連絡協議会（会長：江口英雄上野原市長）では、平成28年12月10日（土）に大月市営野球場において、大月市真木出身、元大リーガーで、現千葉ロッテマリーンズの小林雅英投手コーチによる野球教室を開催しました。今年で16回目となる同教室には、大月市・上野原市のスポーツ少年団の児童や中学校の野球部の生徒など約160名が参加。

午前中は、各年代別に分かれてキャッチボールやバッティングを行ったり、小林コーチのノックを受けたりしました。練習の途中には小林コーチのサイン入りユニフォーム・ボール・帽子がプレゼントされました。会場内の特設展示コーナーで、アテネオリンピックの銅メダルや、侍ジャパン・千葉ロッテ・大リーグインディアンズ・巨人時代のユニフォーム等が昼休みに公開されました。また、午後からは各チームのピッチャーを対象に指導が行われ、選手達は投球フォームの一つ一つを細かく確認していま

した。最後に、中学生の代表選手と小林コーチが対戦、小林コーチのピッチングに保護者・選手達はかたずを飲んで見学をしていました。小林コーチからは「自分の夢を持ち続け、実現に向かって努力をしていこう。」と参加した選手達にお話がありました。参加した選手からは、「投げるときの足の踏み出し方を教わった。日々心掛けて、もっと野球がうまくなりたい。」等の感想が寄せられました。選手達は、憧れの小林コーチからの指導を大切に、今後さらに努力を重ねることを誓っていました。とても充実した一日となりました。



地域の青少年支援を目指すネットワークづくり !!

南都留教育相談ネットワーク会議

南都留教育相談ネットワーク会議(会長：井口敦人都留児童相談所所長)は、「青少年の育成にかかわる、教師やカウンセラー、児童相談所・教育相談所の職員等が、それぞれの経験や専門性を生かしながら情報や技術を共有し合い、連携して学習会や相談活動・情報提供・研究活動を行い、公正中立な立場でのより効果的な地域の青少年支援」を目指し、平成 13 年度に設立されました。

南都留地域教育推進連絡協議会(会長：三井恵司下吉田中学校長)では、7月6日(水)に本年度第1回の会議を南都留合同庁舎大会議室において開催し、活動計画等について話し合いました。その後、都留こすもす教室 渡邊雅彦主幹からの実践発表をもとに、研究協



議が行われ、活発な意見交換がなされました。第2回は、12月7日(水)に開催。今回は、富士河口湖町立教育センター相談員 山口真澄さんと、教育事務所 梶原満指導主事の実践発表をもとに、研究協議が行われました。山口相談員の実践発表では、教育センターでの業務についての説明につづいて、具体的な例を用いて、相談の対象者だけでなく、保護者など本人を取り巻く環境への働きかけによる間接的な支援や、意欲を引き出すことが大切であると説明。また、梶原指導主事からは、いじめの実態と解決のために未然防止・早期発見解決・誠実対応・継続観察の必要性についての発表がありました。その後、熱心に話し合いが進められました。本会議を通して、子どもたちを取り巻く様々な問題についての実態や課題の情報交換と子どもたちの居場所づくりの重要性が確認されました。第3回は2月1日(水)に開催の予定です。

地域の実態にあった中・高の効果的な連携を探る !!

生徒の健全育成をめざす中・高連携連絡会議

「生徒の健全育成をめざす中・高連携連絡会議」は、旧都留学区の都留市・西桂町の実態にあった中学教育と高校教育の効果的な連携を探るとともに、一層の理解と推進を図り具体的な取り組みを検討することを目的に、平成 13 年度から始めました。同会議では「各学校の情報交換、現在抱えている問題点や取り組み等の報告」と、「将来的なビジョンの検討、人的交流の推進、相互理解と相互連携協力事業の開拓」について話し合われます。

南都留地域推進連絡協議会(会長：三井恵司下吉田中学校長)では、5月27日(金)に都留興譲館高校にて各学校の校



長による本年度第1回の会議を開催しました。会議では、各学校の現状・課題・取り組み、及び意見交換が行われ、特に、授業や部活動の連携事業について活発な意見交換がなされ有意義な内容となりました。11月29日(火)には第2回を開催。前回までの会議報告につづき、各学校の取り組みや現状と課題について報告がされました。各学校の少子化に伴う生徒への対応などが話題として取り上げられ、各校の状況や取り組み・対応について情報交換を行いました。また、具体的な連携活動の取り組みについては、「高校での体験学習の実施」「先輩を囲む会による進路指導」「高校生や教員による出前授業や部活動の連携」「高校を媒体として、小学校、中学校と大学をつなげるような連携についての検討」等について意見が交換されました。

児童生徒連絡協議会の取り組み !! 各地区の『首長さんと話す会』



【富士吉田市 市長さんと話す会】

富士吉田市児生連では、10月24日(月)に富士吉田市環境美化センターにおいて、第44回「市長さんと話す会」を開催しました。富士吉田市内の小中学生と近隣の高校生ら約50人が参加。「私たちの考える ふれあいの心が広がる街づくり」をテーマに、「ふれあいの心が広がる学校づくり」「ふれあいの心が広がる街づくり」について、市長さんをはじめ市役所各課代表の方々を交えて、活発な意見交換が行われました。参加した児童・生徒達は、この会を通して、自分の住む富士吉田市についてさらに深く考え、地域の活動への積極的な参加が必要であることが確認されました。最後に市長さんからは、市政に対する熱い思いやこの会の感想が話されました。

【富士河口湖町 町長さんと語る会】

富士河口湖町児生連では、11月8日(火)に富士河口湖町役場において、「町長さんと語る会」を開催しました。当日は、各学校の児童会・生徒会代表者ら約50名が参加。「アイスブレイク」で緊張をほぐした後は、「笑顔あふれる町づくり」をテーマに活発なグループ討議が行われました。討議で話し合われたことがグループごとに発表されると、出席者は熱心に耳を傾けていました。その後、児童・生徒からの意見の共有とまとめがされ、町長さんからは、児童・生徒達の市政に対する豊かな発想に笑顔を浮かべながら、今後の町づくりに生かしたいとのメッセージをいただきました。



【都留市 都留リーダーサミット】

都留市児生連では、11月18日(金)に都留市役所大会議室において、「都留リーダーサミット」を開催しました。当日は、都留市内の小中学生と高校生の児童会・生徒会代表者ら約40名が参加。「市長さんの話」では、児童・生徒への熱いメッセージ、市政に対する熱い思いが話されました。出席者が3グループに分かれての熟議では、「おもてなしの心～わたしたちの住む都留市独自のおもてなし～」のテーマにもとづき、話し合いが進められました。各グループにアドバイザーも加わり、質問やアドバイスをして討議を盛り上げていました。最後に話し合いの結果をまとめて、各校に持ち帰り、今後の校内活動に生かすことが確認されました。



桃太郎に学ぶ経営学で地域振興!! 公開講座 大月短期大学「桃太郎経営学」

大月短期大学(村上哲也学長)では、県内大学でつくる「大学コンソーシアムやまなし」が主催する「県民コミュニティカレッジ地域ベース講座」の一環として公開講座「桃太郎経営学」を開講しました。この講座は、桃太郎に関する諸事項を民俗学・文化人類学的視点と経営的視点から「陰陽道について」「鬼について」「桃太郎の物語について」「桃太郎経営論」のテーマで計4回が開催され、249名が受講しました。

第4回の10月26日(水)は、佐藤茂幸先生による「桃太郎経営論 一企業と地域の幸福のすすめ」が開催され、72名が受講しました。初めに10月15・16日に行われた「第14回桃太郎サミット」の盛況な様子や桃太郎をテーマに活動する地域の連携、さらに活性化に向けた取り組みが紹介されました。講義では、

①桃太郎経営論とは②桃太郎のなぜ?③桃太郎経営論の発展性④地域ビジネスへの展開という内容で話されました。桃太郎伝説と経営学の関連を分かりやすく丁寧に説明した上で、実際に大月の企業や組織が、実践した取り組みを桃太郎経営に基づき解説をしました。説得力のあるお話に参加者は、熱心に聞き入っていました。講演後には、多くの意見が活発に出され、今後の具体的な地域ビジネスの展開が話し合われました。



日々の学習成果を発表 !!

上野原高等学校 第6回総合学科発表会



県立上野原高等学校(田口尚弥校長)では、平成23年度から県内初の進学型総合学科高校に改編され、生徒一人一人のキャリア教育に対応した「ドリカム=システム」を実践しています。同校総合学科の特色は、「科目群」という考え方を採用し、生徒一人一人が描く多様な夢の実現をサポートする点にあり、生徒は様々な体験を通して、自らの夢を見つけ、育み、実現を目指しています。



平成28年12月17日(土)に各学年の今年度の取り組みを発表する第6回総合学科発表会が教育関係者、地元や近隣の中学生、保護者、同校生徒らが出席して、体育館で開催されました。また、今年度から各学年の代表者が研究発表をポスターセッションで行いました。参加者は興味深く耳を傾けていました。当日の発表内容は次のとおりです。

【総合学科の紹介】 【主権者教育を受けて】 【発表Ⅰ】 1年次：「ドリームスピーチ」

将来の夢や目標は何か。その夢を実現するためには、今、自分にとって必要なことは何かを発表。

【発表Ⅱ】 2年次：「インターンシップ」「姉妹校交流」「課題学習」

「介護施設でのインターンシップを通して」「オーストラリアを通して学んだこと」「身の回りの機械～テレビと車の仕組み～」

【ポスターセッション】

【発表Ⅲ】 3年次：「福祉の授業を通して」「課題研究発表」「主権者教育を通して」

「福祉の授業を通して」「18歳選挙権について」「子供の遊びとその環境」「待機児童に悩む家族」

【全校合唱】 上野原高校校歌を混声4部合唱で披露。

授業公開特集 上野原西中学校・明見中学校 遠来マラソン 下駄道駅中学校・明見中学校

【上野原西中学校 剣道公開授業】



上野原西中学校(星野徳一校長)の「公開研究授業」は、文部科学省委託事業平成28年度武道等指導充実・資質向上支援事業中学校保健体育武道(剣道)として11月14日(月)に開催されました。当日は、全日本剣道連盟役員、山梨県剣道連盟登録授業協力者、東京都剣道連盟登録授業協力者、山梨県内の教育関係者の先生方などが参加。準備体操・全体説明の後、竹刀を構えての足さばき・素振り・二人一組で面、小手を送り足や打ち踏み込み足で打つことを行いました。生徒の皆さんは、先生方からの指導のもと、熱心に取り組んでいました。参加者からは、「生徒達が元気よく大きな声で授業に取り組んでいる様子を見ることができた。」「先生方の指導方法の工夫や、安全面への配慮に感心した。」「生徒の実態に沿って教育をされていることがよくわかった。」等の声が寄せられました。

【明見中学校 富士山学習】



明見中学校(矢崎政美校長)は、11月16日(水)に富士山教育の授業を公開しました。同校の富士山教育は、1年次「身近な防災」・2年次「世界遺産としての富士山」・3年次「教科と関連した富士山学習」をテーマに実施しています。当日は、富士吉田市安全対策課、市内小中学校の先生方、保護者などが参加。1年生は、校外学習での体験や、富士吉田市安全対策課の方から聞いた土砂災害・火山災害・地震災害の講話をもとに、災害についての学習を深め、学習成果の発表をしました。防

災について、家族と一緒にできることを考える貴重な機会となりました。2年生は、テーマに基づき各グループに分かれ一人ひとり意見を述べ、考えを深めました。3年生は、富士山学習を教科の学習に結びつけ、将来の富士吉田を考える授業も展開されました。参加者は、各学年ごとの学習段階に応じた発表を熱心に聞き入っていました。

共に学び合い、共に理解し合う !!

富士北稜高等学校・ふじざくら支援学校交流会



富士北稜高等学校(渡邊信介校長)と、ふじざくら支援学校(下倉史彦校長)では、もの作りなどの作業を通してお互いの理解を深めるとともに、共に助け合い、支え合っていく豊かな人間性を培うことを目的に、年間2回の交流会を実施しています。今年で13年目を迎えた交流会は、両校の生徒がお互いの校舎を行き来する形で、体験学習を実施しています。

毎年、1回目の交流は春にふじざくら支援学校で行われます。11月17日(木)には、今年度2回目の交流会が富士北稜高校を会場にて行われました。交流会当日は、ふじざくら支援学校から高等部の生徒54名、富士北稜高校から各系列とボランティア委員の生徒69名、合わせて123名の生徒が参加。両校の生徒が2~3人一組となって、「PCでクリスマスカード製作」「リニアモーターカー作り」「手作りハガキ体験」「アートフラワー」それぞれの作業に取り組みました。この交流会の特徴は、一つの作業を集団ではなくペアを組んだ友達と手を取り合い協力しながらやり遂げるところにあります。作業を通してお互いの気持ちを思いやり、譲り合ったりして、自然な関わり合いの中で理解を深め合うというものです。

交流会前は「相手校の生徒とどのように対峙して良いのかわからない」という不安や戸惑いを抱く生徒が多かったようですが、実際に交流が始まると短時間のうちにお互い打ち解け、笑顔を見せ合うようになりました。また、小学校以来の再会に手を取り合って喜ぶ生徒の姿もありました。

作業で完成させた作品は、ふじざくら支援学校の参加者へのお土産としてプレゼントされました。笑顔での活動を終え、お互いの再会を約束し合う充実した交流会となりました。



ワクワク子育て親育ちプログラム学習講座



県社会教育課では、少子化対策のひとつとして、親同士が学び合うことで子育ての不安や悩みを解消し、より多くの親に子育ての楽しさを実感してもらうとともに、若者たちにも子育てに対する夢をもってもらうために『やまなしワクワク子育て親育ちプログラム』の冊子を作成し、県内の保育所(園)・幼稚園、小中学校、高等学校、特別支援学校、大学に配付しました。「ワクワク



子育て親育ちプログラム学習講座」は、この冊子の活用法について演習を通じて学ぶ学習講座でした。10月14日(金)から合計6回の講座を開講。受講者は、親(保護者)と支援者など様々な立場の方が参加されました。講座内容は、同冊子のプログラム自体を学ぶと同時に研修会のファシリテーター(グループでの学習・討議の進行役)としての技術を磨くことに重点を置き、「子育て支援リーダー実力アップ講座」よりも演習的な講座となりました。

最終回となった12月16日(金)は講座終了後に閉講式が行われ、全ての課程を修了した30人に修了証が手渡されました。受講生たちは、これからの活動のネットワークづくりのために、お互いの連絡先を交換していました。

今回受講された皆様には、学級・学年PTAの研修会や子育て支援事業などでプログラムを積極的に活用し、講師やファシリテーターとして活躍されることを期待しています。

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めて参ります。各事業についてご意見ご要望がありましたら、地域教育支援スタッフまでご連絡ください。

※連絡先 富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ 0554-45-7841